

貸借対照表

(平成28年 3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	(12,861,834)	流動負債	(4,387,117)
現金及び預金	347	買掛金	3,108,455
売掛金	6,130,109	未払金	775,521
プーリング預け金	4,081,367	未払法人税等	91,502
製品	839,041	未払費用	398,883
材料	244,201	役員賞与引当金	2,900
仕掛品	1,210,738	預り金	9,852
前払費用	8,947		
繰延税金資産	113,060	固定負債	(922,658)
その他	234,019	退職給付引当金	918,378
		役員退職慰労引当金	4,280
固定資産	(3,222,256)		
有形固定資産	(2,689,550)	負債合計	5,309,775
建物	1,124,047	純資産の部	
構築物	206,574	株主資本	(10,774,315)
機械装置	1,083,824	資本金	(3,569,140)
車両運搬具	7,487	資本剰余金	(3,568,264)
工具器具備品	69,635	資本準備金	3,568,264
土地	189,168	利益剰余金	(3,636,911)
建設仮勘定	8,812	利益準備金	676,160
無形固定資産	(21,368)	その他利益剰余金	2,960,751
ソフトウェア	15,930	固定資産圧縮積立金	5,754
施設利用権	5,438	別途積立金	800,000
投資その他の資産	(511,337)	繰越利益剰余金	2,154,996
投資有価証券	1,550		
出資金	133,502	評価・換算差額等	(-)
繰延税金資産	366,663	その他有価証券評価差額金	-
その他	12,541		
貸倒引当金	△ 2,920	純資産合計	10,774,315
資産合計	16,084,091	負債・純資産合計	16,084,091

(注)表示単位未満の金額は、切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 平成27年 4月 1日 〕
〔 至 平成28年 3月31日 〕

(単位:千円)

項 目	金 額
売 上 高	32,174,899
売 上 原 価	29,222,419
売上総利益	2,952,480
販売費及び一般管理費	1,245,034
営業利益	1,707,445
営業外収益	
受取利息及び配当金	165
その他	9,326
営業外費用	
支払利息	24,035
その他	50,181
経常利益	1,642,721
特別損失	
ゴルフ会員権評価損	1,440
土地減損損失	60,806
	62,246
税引前当期純利益	1,580,475
法人税、住民税及び事業税	497,806
法人税等調整額	61,332
当期純利益	1,021,336

(注)表示単位未満の金額は、切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 自 平成27年 4月 1日 〕
〔 至 平成28年 3月31日 〕

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	
				固定資産圧縮積立金	別途積立金
当 期 首 残 高	3,569,140	3,568,264	676,160	5,754	800,000
誤謬の訂正による 累積的影響額					
誤謬訂正後 当 期 首 残 高	3,569,140	3,568,264	676,160	5,754	800,000
当 期 変 動 額					
剰余金の配当					
当 期 純 利 益					
別途積立金の取崩					
株主資本以外の項 目の当期変動額					
当 期 変 動 額 合 計					
当 期 末 残 高	3,569,140	3,568,264	676,160	5,754	800,000

	株 主 資 本			評価・換算差額等	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当 期 首 残 高	1,566,342	3,048,257	10,185,661	-	10,185,661
誤謬の訂正による 累積的影響額	94,600	94,600	94,600		94,600
誤謬訂正後 当 期 首 残 高	1,660,942	3,142,857	10,280,261		10,280,261
当 期 変 動 額					
剰余金の配当	△ 527,283	△ 527,283	△ 527,283		△ 527,283
当 期 純 利 益	1,021,336	1,021,336	1,021,336		1,021,336
別途積立金の取崩					
株主資本以外の項 目の当期変動額					
当 期 変 動 額 合 計	494,053	494,053	494,053		494,053
当 期 末 残 高	2,154,996	3,636,911	10,774,315	-	10,774,315

(注) 表示単位未満の金額は、切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの …………… 決算末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの …………… 移動平均法による原価法

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品、材料及び仕掛品 …………… 総平均法による原価法
(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっております。

無形固定資産

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出にあてるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により翌事業年度から費用処理しております。過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理する方法により処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金にあてるため、内規による支給見込額を計上しております。

5. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

6. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(誤謬の訂正に関する注記)

過年度において当社の保有するゴルフ会員権の評価に誤りがありました。

この誤謬の訂正による累積的影響額は、当事業年度の期首の純資産額に反映しております。この結果、株主資本等変動計算書の繰越利益剰余金の遡及適用後の期首残高は94,600千円増加しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産減価償却累計額	13,545,911 千円
2. 保証債務	
従業員の金融機関からの借入れに対する債務保証	8,447 千円
3. 関係会社に対する短期金銭債権	4,295,230 千円
関係会社に対する短期金銭債務	1,344,902 千円

(損益計算書に関する注記)

1. 関係会社との取引高	
関係会社に対する売上高	1,072,027 千円
関係会社からの仕入高	4,902,832 千円
関係会社との営業取引以外の取引高	23,810 千円
合 計	5,998,669 千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	19,860,000株	—	—	19,860,000株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	201,380千円	10.14円	平成27年 3月31日	平成27年 6月24日
平成27年11月25日 取締役会	普通株式	325,902千円	16.41円	平成27年 9月30日	平成27年 12月10日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成28年6月20日 定時株主総会	普通株式	479,619千円	24.15円	平成28年 3月31日	平成28年 6月21日

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因は、減価償却限度超過額、退職給付引当金の否認額等であります。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿って低減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額 (*)	時 価 (*)	差 額
(1) 現金及び預金	347	347	-
(2) 売掛金	6,130,109	6,130,109	-
(3) プーリング預け金	4,081,367	4,081,367	-
(4) 買掛金	(3,108,455)	(3,108,455)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、(3) プーリング預け金、並びに(4) 買掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	日立金属㈱	(被所有) 直接 100%	兼任3人	製品の販売 及び原材料 等の購入	※資金の返済	14,616,662	プーリン グ 預け金 買掛金	4,081,367
					※利息の支払	23,810		
					原材料等の購入	4,902,832		

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ① 価格その他の取引条件は、市場価格を勘案して当社が希望価格を提示し、価格交渉のうえ、決定しております。
- ② 原材料等の仕入については、市場の実勢価格を参考にして交渉のうえ、決定しております。
- ③ ※当社は資金の集中管理を目的として日立金属グループのプーリング制度に加入しております。資金の融通は日々行われており、取引金額は前年度残高との差額を表し、期末残高は期末時点での預け金を表しております。
なお、借入利率は市場金利を勘案して合理的に決定しております。

2. 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の 子会社	日立金属 商事㈱	なし	-	製品の販売 及び商品の 購入	当社製品の販売	5,938,472	売掛金	492,268
親会社の 子会社	日立マグネット ㈱	なし	-	原材料等の 購入	原材料等の購入	19,400,848	買掛金	1,667,482

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ① 価格その他の取引条件は、市場価格を勘案して当社が希望価格を提示し、価格交渉のうえ、決定しております。
- ② 原材料等の仕入については、建値及び市場の実勢価格を参考にして交渉のうえ、決定しております。

(1株当たり情報に関する注記)

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 1株当たり純資産 | 542円51銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 51円43銭 |